

保護者の皆さまへ

寝屋川支援校長室だより

令和4年9月1日 No.8

大阪府立寝屋川支援学校

校長 阪本 友輝

准校長 藤田 太郎

夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか？残暑も厳しく、日差しはまだまだ強いですね。天気については不安定な日が多く、晴れていたと思ったら急に曇りだして雨が降るなど、外出時は傘がかかせない日々が続いています。新型コロナウイルス感染症については、7月下旬より感染者数が増加し、現在も大阪府新型コロナ警戒信号は赤色の状況が継続しています。このような状況の中、いよいよ2学期がスタートとなります。以下の点をご確認ください。

●教育活動について

1 学期につきましては、大阪府新型コロナ警戒信号:緑色での教育活動を継続して夏休みに入りましたが、大阪府では現在も2万人前後の感染者数を記録しており、2学期のスタートは赤色での対応となります。校内での学習におきましては、児童生徒等の「接触」「密集」「近距離での活動」「向い合っでの発声」について、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなど感染症対策を十分に行った上で対応をしていきます。大阪府新型コロナ警戒信号の色が変わりましたらその後の教育活動について、改めてご連絡させていただきます。

保護者の皆さまにおかれましては、お子さまの登校前に自宅・学院にて検温・健康観察の実施を徹底していただき、体調がすぐれない場合につきましては、無理をさせないようお願いします。

●濃厚接触者の待機期間について

保健所より濃厚接触者と特定された場合は、無症状であれば原則5日間の出席停止となります。
[詳細につきましては別紙をご覧ください。]

●大阪府立支援学校バスケットボール大会

7月23日に、高等部バスケットボールクラブに所属している2、3年生が大阪府立支援学校バスケットボール大会に参加しました。練習試合では、なかなか勝てなかったそうですが、この日はなんと2連勝で終えることができました。緊張感のある中、コーチの戦術をしっかりと聞いて、それぞれが自分のベストを出そうと奮闘し、みんなで力をあわせて勝利しています。本当に一生懸命頑張りました。保護者の皆さまや高等部の先生方、調理員さんも応援にきていただきました。本当にありがとうございました。応援や声援が子どもたちの力になりました。参加した学校の中で、本校が出場した人数、応援にきていただいた人数が1番多かったそうです。



試合直前の練習です

● 児童生徒の指導支援にあたって

長い夏季休業期間中、お子様にも様々な変化や成長が見られることもあったのではないのでしょうか。嬉しいこと、逆に不安に思うこと、些細なことで結構ですので、連絡帳等にて教えていただくと、今後の指導支援の足掛かりになることもあるかと考えますので、ご連絡のほどよろしくお願いいたします。

本校の指導支援についてですが、児童生徒への「さん・くん」呼称を推奨しています。その後続く言葉が柔らかくなること等の効果が期待できます。

もちろん親しみのある関係性も大切ですので、冗談を言い合うこともあるかと思いますが、指導や支援を行っている際の親しみを込めた何気ない発言が、切り取り方によっては子どもの人権侵害に当たってしまうこともあるということもしっかりと踏まえて、児童生徒への日々の指導支援について、人権を尊重した対応を進めてまいります。

また、同様の内容やボリュームで児童生徒に声かけをしていたとしても、子どもによっては受け取り方に差異があり、指導内容・方法に怖さや驚きを感じてしまう場面があるかもしれません。「威圧的」と捉えられてしまう言動のないよう、教員同士、声を掛け合いながら指導に当たりたいと考えます。

ご来校の際に、もしそのような場面を見かけることがありましたら、玄関横に設置しております「意見箱」や「校長Dメール」にて管理職までお伝えください。

2 学期も保護者の皆様のお力をお借りしながら、本校教育を進めてまいりたいと考えますので、何卒よろしくお願いいたします。